

事業原簿

2021年12月

上位 施策 等の 名称	-																							
事業 名称	NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開			PJコード：P06046																				
推進 部	技術戦略研究センター																							
事業 概要	<p>拠点を大学等に構築し、以下の(1)～(3)を一体的に実施することにより、我が国の将来を支える研究・技術開発人材の育成、産学連携の促進を行う。</p> <p>(1) 人材育成の講座実施 NEDOプロジェクトの基幹技術等に係る人材育成のための講座を実施し技術人材を育成する。</p> <p>(2) 人的交流等の展開 NEDOプロジェクトの基幹技術等を中心に、関連技術も含めた研究者、技術者等の人的ネットワークを構築するとともに、人的交流事業等を実施する。</p> <p>(3) 周辺研究の実施 NEDOプロジェクトの基幹技術等に関連する研究、その成果の普及や発展に資する派生的研究を実施する。</p> <p>本事業の実施に当たっては、講座運営を大学等に委託することで研究拠点が持つ教育・研究機能を最大限に活用する。また、NEDOプロジェクトを題材とした講義により、NEDOプロジェクトの成果の活用、一層の普及を図る。</p>																							
事業 期 間・ 予算	<p>事業期間：2006年度～</p> <p>契約等種別：委託</p> <p>勘定区分：一般勘定、エネルギー需給勘定</p> <p style="text-align: right;">[単位：百万円]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2006～2017 (実績)</th> <th>2018 (実績)</th> <th>2019 (実績)</th> <th>2020 (実績)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>2,843</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>99</td> <td>3,126</td> </tr> <tr> <td>執行額</td> <td>2,765</td> <td>90</td> <td>94</td> <td>99</td> <td>3,048</td> </tr> </tbody> </table>							2006～2017 (実績)	2018 (実績)	2019 (実績)	2020 (実績)	合計	予算額	2,843	90	94	99	3,126	執行額	2,765	90	94	99	3,048
	2006～2017 (実績)	2018 (実績)	2019 (実績)	2020 (実績)	合計																			
予算額	2,843	90	94	99	3,126																			
執行額	2,765	90	94	99	3,048																			
事業 の位 置付 け・ 必要 性	<p>第3期科学技術基本計画（2006～2010年度）において、「大学を拠点とした産学協働による教育プログラムの開発・実施」「産業界との共同研究等に大学院生やポストドクターが指導教員の適切な指導・監督のもと一定の責任を伴って参画する機会の拡充」の重要性が指摘された。</p> <p>また、NEDOが独自に実施した企業・大学の研究者インタビューにおいても、「長期的な研究に取り組む優れた研究者を育成する状況には無く、外部にも適切な育成の場が無い」という企業の意見や、「研究の出口を見据えたアプローチをとれる人材がいない」という大学の意見があることが分かった。</p> <p>そこで、NEDOで実施したプロジェクトの研究拠点等を活用し、当該分野の研究者・技術者を育成するとともに、NEDOのプロジェクトの成果の発展・普及につなげる仕組みが必要と考え、2006年度から本事業を開始した。</p> <p>第4期、第5期科学技術基本計画でも、人材育成や産学連携の必要性が言及されており、直近の第6期科学技術・イノベーション基本計画（2021～2025年度）においても、「科学技術・イノベーションの創出を支える人材育成」、「産業界等のニーズに対応したリカレント教育、人材育成プログラム」の重要性が謳われている。</p>																							

事業の目的・目標	我が国の将来を支える研究・技術開発人材の不足等の課題を解決するべく、大学等の研究・教育機能を活用して、産学連携の促進を行う「場」を形成し、先端分野等の技術を支える将来の人材育成を行うことで、新たな技術シーズや技術応用を生み、当該技術を担う人材が育つ「好循環」を形成していく。	
事業の成果	○実施拠点一覧 ①コアプロジェクトに係る講座	
	実施年度	講座名称
	2006～2010年度	ナノフォトニクス特別講座
	2006～2010年度	NEDO光集積特別講座
	2007～2009年度	次世代DDS型治療システム特別講座
	2007～2011年度	NEDO新環境エネルギー科学創成特別講座
	2007～2010年度	ナノファイバーイノベーション特別講座
	2007～2013年度	蛋白質立体構造解析特別講座
	2008～2011年度	金属ガラス特別講座
	2010～2011年度	次世代ロボット知能化特別講座
	2018～2020年度	ロボット性能評価手法に係る特別講座
	2019～2022年度	セルロースナノファイバー先端開発技術者養成に係る特別講座
	2020～2022年度	システム・インテグレーションを加速するロボット共通ソフトウェア技術を維持・普及・発展させていくための人材の育成・交流・研究の活性化に係る特別講座
	2021～2022年度	多用途多端子直流送電システム
	2021～2022年度	データ駆動型材料設計利用技術者養成に係る特別講座
	2021～2022年度	中小建設業ROS (Robot Operating System) 活用人材育成講座
	2021～2022年度	自動走行ロボットを活用した配送サービスを普及・発展させていくための人材の育成・交流・研究の活性化に係る特別講座
		東京大学
		京都大学
		京都大学 東京女子医科大学
		東京大学
		東京大学
		名古屋大学 東京大学 大阪大学
		東北大学
		東京大学
		(一社)製造科学技術センター
		東京大学 京都大学 京都市産業技術研究所 産業技術総合研究所
		埼玉大学 東京大学 産業技術総合研究所
		東京都市大学 徳島大学 東京工業大学
		産業技術総合研究所
		未定 (審査中)
		(株)角川アスキー総合研究所

②先端技術・技術経営の拠点を活用した講座		
実施年度	講座名称	拠点
2008～2013年度	イノベーション政策研究講座	東京大学
2012～2014年度	知的資産経営研究講座	東京大学
2012～2014年度	環境考慮型モビリティ技術経営特別講座	名古屋大学
2012～2013年度	国富を担うロボット共通基盤技術の社会普及に関する体系的研究・活動	東京大学
2012～2013年度	地域・コミュニティの特性を活かしたロボットシステムの共創	千葉工業大学
2013～2015年度	産業技術の普及と社会制度	(一社)日本機械学会
2014～2015年度	RT ミドルウェアの実践的展開	東京大学
		玉川大学
2016～2017年度	ロボットの社会実装におけるイノベーション創出人材育成	大阪工業大学
2017～2019年度	実データで学ぶ人工知能講座	東京大学
		大阪大学
2021～2022年度	研究開発型スタートアップの高度専門支援人材の養成に係る特別講座	未定（審査中）
情勢変化への対応	新型コロナウイルスの感染拡大の情勢変化に対応し、講座の時期や内容を鑑みオンラインやオンデマンド方式での講義等も実施。多くの受講者の参加を可能にした。	
評価の実績・予定	<p>評価時期及び方法（外部評価又は内部評価、レビュー方法、評価類型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年度評価：毎年度終了後速やかに実施、内部評価（2014年度まで） ・期中評価：2010年度（第2期中期目標期間）、外部評価を実施済 ・中間評価：2015年度（第3期中長期目標期間）、外部評価を実施済 ・中間評価：2018年度（第4期中長期目標期間）、外部評価を実施済 ・中間評価：2021年度（第4期中長期目標期間）、外部評価を実施 ・中間評価：2024年度（第5期中長期目標期間）、外部評価を実施予定 	